

# 緑化だより

No.185 令和4年8月号



ウマノスズクサ

- 季節の花(土針(メハジキ)
- 水生昆虫の話(カワゲラの仲間  
フサオナシカワゲラ属)
- 小さな世界こけ  
(フタバネゼニゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

うらま 遊学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>



広島県  
緑化センター  
二次元コード

# 季節の花

つちはり(メハジキ)

「我がやどに 生(お)ふる土針(つちはり) 心ゆも

思はぬ人も 衣(きぬ)に摺(す)らゆな」

作者未詳 万葉集 巻7—1338

これを訳しますと

(我が家の庭先に生えている土針(恋しい人)よ。(染料になるからといって)お前を本気で思っていない人の衣の摺り染めに使われてはなりませんよ。)

古名の土針(つちはり)と呼ばれる植物はメハジキです。土針の葉は、緑色の染料に用いられましたが、衣に染めた色が、すぐにあせて薄くなりやすいことから、移り気で、浮気心のある男性に例えられ、母親が娘へ、このような人とは関係を持ってはいけませんよ。本気で思ってくれる人と付き合いなさいよ、と言っているのでしょう。

メハジキはシソ科の二年草で、一年目は茎がなく、全く別の植物に見えます。二年目は茎が立ち、四角で直立して高さ 50 cm～1m に成長し、夏から秋にかけて葉の付け根に紫がかったピンク色で唇形の花を数個集めて段状につけます。古くから、福島県などではメハジキの葉で緑色の染色に用いられた記録があります。

北海道、本州、四国、九州、琉球列島の山野の荒れ地、野原、河原などに自生しています。国外では朝鮮半島、中国大陸、ロシア沿海州、東南アジア、台湾に分布し、北アメリカ大陸でも帰化しています。

メハジキは「目弾き」の意で茎に弾力があり、昔は子供が短く切った茎をまぶたにはさんで目を大きくしたり、まばたきをして茎を飛ばして遊んだことからメハジキソウ(目弾草)と名付けられました。別名メツパリ、メツパジキ、ツツパリともいわれました。

中国では、古くから婦人病の薬として利用され、生薬名を「益母草(やくもそう)」といい、産前、産後の薬として利用されています。

メハジキは広島でもなかなか出会えない植物で、出会うと花姿はとも見栄えがして、たくましく、美しい花で感動します。以前は緑化センターでも見られましたが、2018年の大雨被害のため、今では見る事ができません。(上村)



メハジキ



メハジキの花

## 水生昆虫の話

カワゲラの仲間 (フサオナシカワゲラ属)

川の中の生き物たちは、多様な河川環境の中で「すみわけ」をしています。それぞれの種がそれぞれの環境に適した形状をして生活しています。

その中でもカワゲラ科は、上流から中流域に多くが生息しており、実に様々なスタイルのものがいます。中には黒くて小さなセッケイカワゲラ属のように雪上で活動するものもいます。広島県緑化センターの溪流で出会うことのできる、多様なカワゲラをご紹介しますが、今回



は、小さいけれどちょっと変わったフサオナシカワゲラ属(カワゲラ目 オナシカワゲラ科)をご紹介します。

このフサオナシカワゲラ属は、成虫になるとその特徴である2本の尾がとても短いため、前翅に隠れて見えないので「オナシ(尾無し)カワゲラ」と名付けられたそうです。

種によって源流から下流域に至るまで、多様な河川環境の中で生息しており、その生態についてはまだまだ研究途上にあるカワゲラで、その生活様式についても明らかでないものが多く、謎に満ちた種でもあります。

中でも、写真のように体全体にゼリー状の粘液のようなものをまとい、その表面に砂粒や腐植片を付着させてカモフラージュするという、まるで忍者の「隠れ蓑の術」のような特殊な技を持つタイプ(モンオナシカワゲラ種群)は、草食系の雑食で、大きさが終齢幼虫でも8~15mmと小さめで種類も多く、その「隠れ蓑」があるがゆえ、幼虫では外見から種を同定することがとても困難なカワゲラでもあります。

水生昆虫を観察する際に、川底をガサガサとすくって、網の中のものを観察用トレイやバケツに移すと、砂や泥っまい中に微かにフワフワ動く何かかいるなあといった感じで見つかることがほとんどで、この種をねらって川の中で見つけようとするのはとても難しいですが、見つけるとちょっとうれしくなる種でもあります。

緑化センターの小川でも、この忍者のようなカワゲラの幼虫を観察することができますので、機会があればぜひチャレンジしてみてくださいはいかがでしょうか？(西村)



フサオナシカワゲラの仲間

## 小さな世界 こけ

### フタバネゼニゴケ

タイ類のフタバネゼニゴケは前号で紹介したゼニゴケ同様、湿り気のある土や岩肌などに見られるコケです。

ゼニゴケが人為的な環境に生育するのに対し、フタバネゼニゴケは自然度の高い山地に分布しています。

幅0.5~1cmの葉状体で、雌雄異株。葉の先には浅い丸い切れ込みがあり、縁は赤紫色になります。

雄株、雌株とも葉の先に無性芽器を作ります。これを杯状体と言いゼニゴケ属の特徴です。

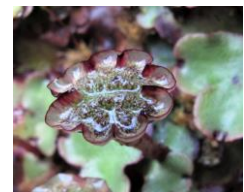
3月下旬から5月頃、雌株も雄株もそれぞれ傘の様な雄器托、雌器托を作ります。雄器托は波打った傘を広げたようです。

受精した雌器托は破れ傘のように切れ込みがあります。受精が行われなかった場合、雌器托の切れ込みは2枚だけで未発達です。これを2枚の羽根に見立てたのが名前の由来です。

緑化センターの第4駐車場では雄株だけのため雄器托だけ、道路沿いでは雌株だけのため、2枚の羽根の雌器托だけしか見るできません。(山根)



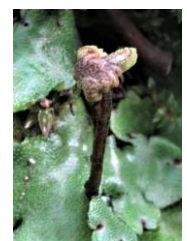
フタバネゼニゴケ



フタバネゼニゴケの雄器托



受精した雌器托



未受精の雌器托

## 研修会のご案内

- 8月21日(日) 『水生昆虫を探してみよう』  
溪流の水生昆虫を採集して、観察します。  
※要予約(定員に達しました)、無料、雨天中止  
10:00～12:00 第2駐車場 集合  
講師：環境カウンセラー  
西村 浩美
- 8月21日(日) 『夏休み自由工作塾』  
※自由参加、(随時受付)、材料費1作品100円、荒天中止  
10:00～15:00 レストハウス裏庭  
講師：緑化センターボランティア  
ふれあい湧
- 8月28日(日) 『夏休み自由工作塾』  
※自由参加、(随時受付)、材料費1作品100円、荒天中止  
10:00～15:00 レストハウス裏庭  
講師：緑化センターボランティア  
ふれあい湧

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、  
参加者はマスク着用、手・指の除菌、密集・密接を避けるようご注意ください。  
また状況によっては、研修内容の変更や中止となる可能性があります。  
ホームページ、お電話等で最新の情報をご確認ください。

### ☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

8月の土、日、祝日は午後5時まで開園します。

### ◎ 展示会

場所:レストハウス  
(ボード展示)

令和3年度広島県愛鳥週間ポスター

入賞作品展

～8月9日(火)

ウクライナ絵画展 ～平和への思い～ 8月20日(土)～9月19日(月・祝)  
(ガラスケース展示)

布あそびキルトサークル ミニ作品展

サンリブカルチャー府中教室 作品展 8月3日(水)～8月30日(火)

場所:学習展示館  
(ボード展示)

季節の花写真展 ～夏の花～

～8月28日(日)



令和3年度広島県  
愛鳥週間ポスター入賞作品展より



布あそびキルトサークル作品展より